

胡 暁暉

講師
文学博士

XIAOHUI HU

✉ xiaohui.hu@komatsu-u.ac.jp

研究 Keyword

日中古典学、日本文学、和漢比較文学

プロフィール

2025年 南開大学 外国語学院日本語文学科 博士課程 修了

2025年 東南大学 外国語学院日本語文学科 講師

2026年 公立小松大学 国際文化交流学部 国際文化交流学科 講師

研究分野

日中古典学、和漢比較文学

所属学協会

東アジア文化交渉学会、東アジア比較文化学会



日中の古典はどのように読まれてきたのか

専門分野・研究分野

日中古典学

中国および日本の古典文献を対象とし、文献の伝来・受容・翻訳・注釈の過程を歴史的に考察する学際的研究分野である。漢籍の日本の受容や知の編成を通じて、東アジア文化交流の実態を明らかにする。

研究内容

日本における明代中国の日本研究著作の受容

明代中国において成立した日本研究著作が、日本においていかに受容され、理解されてきたのかを主題とする。明代の対外認識や知的関心のもとで編まれた日本関係文献は、近世日本に伝来する過程で写本・刊本として流通し、多様な読書層によって読解・利用された。とりわけ、文献に施された訓読、注釈、書き入れなどの読書痕跡は、江戸時代の知識人が中国文献をどのような学問的態度で受け止めていたのかを具体的に示している。これらの注釈は、原文理解を助けるための工夫にとどまらず、文史的教養や文献学的関心、実用的知識への志向など、当時の学術素養を反映するものとして位置づけられる。明代文献に対するこうした読解実践を検討することで、江戸期知識人の学問方法と知的環境の一端を明らかにし、東アジアにおける学知受容の具体相を考察する。

シーズ・地域連携テーマ例

- 『日本考』における和歌の解明
- 日蔵『日本風土記』の写本
- 許渾詩の日本受容

受賞

- 2022年、中国日本語教学研究会、第14回「カシオ杯」優秀修士論文二等賞

論文

- 菅原道真の漢詩における許渾詩の影響——鴻臚贈答詩および寛平七年唱酬を中心に——、胡暁暉、東アジア文化研究 (11)、59-72、2024年9月；
- 『日本考』における和歌と歌謡の漢訳、胡暁暉、東アジア文化研究 (10)、75-92、2024年2月；
- 『日本考』所収和歌考釈其二——民間伝承を中心に胡暁暉、東アジア文化研究 (8)、205-220、2023年2月；
- 『日本考』所収和歌考釈——私撰集を中心に、東アジア文化研究 (7)、133-154、2022年2月；

講演・口頭発表等

- 東京都立中央図書館蔵大邨詔校注『日本風土記』に関する一考察、第17回東アジア比較文化国際会議日本大会、大東文化大学、2025年8月；
- 日本所蔵『日本風土記』写本の考察、第17回東アジア文化交渉学会国際学術大会、浙江工商大学、2025年5月；
- 菅原道真の漢詩における許渾詩の影響——鴻臚贈答詩および寛平七年唱酬を中心に、第16回東アジア文化交渉学会国際学術大会、関西大学、2024年5月



国立公文書館所蔵万曆刊『日本風土記』